



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/09/25

研究課題名	血中 BNP 濃度測定を用いた慢性心不全患者の再増悪の早期発見（2 次予防）
研究の対象	2025 年 5 月～2027 年 3 月に慢性心不全で北野病院に入院し、退院後も当病院の外来へ通院を継続している方（20 歳以上）
研究目的・方法	<p>心不全患者は急性期を脱した後、急性期病院を離れて慢性期の疾病管理に移行し、地域の診療所や在宅医療に託されるため、必ずしも循環器専門医が診療にあたるわけではない。一方、二次予防医療が奏功せず入退院を繰り返すことで患者の QOL が著しく低下し、介護度が進行するだけでなく、社会保障財政の逼迫を招いている状況にある。そのため、循環器専門医ではない地域医療を担う非専門医やチームにとって、慢性心不全患者の再増悪を早期に探知できるツールがあれば再入院の阻止や医療崩壊を防ぐ鍵となる可能性がある。今回当院循環器内科に入院された心不全患者の退院時から外来フォローの過程における血液検査データや臨床データを経時的に観察し、心不全再増悪を早期に探知できる指標について検討する。</p> <p>研究期間：許可日～2028 年 6 月</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：A)入院日、退院日、年齢、性別、心拍数、血圧、体重、身長、NYHA 分類 B)患者背景：心不全による入院回数、心房細動の有無、ペースメーカーの装着有無、退院時 BNP 値、直近の LVEF 値（%） C)基礎心疾患：虚血性、高血圧性、弁膜性、その他 D)臨床検査結果：BNP、CRP、クレアチニン、WBC、RBC、血小板数、Hb、心筋トロポニン I、SpO2 HbA1c E)治療：投薬内容、薬物増量・変更の有無、精密検査実施の有無 F)その他：症状の増悪、症状の有無、急性心不全初期対応における CS 分類、イベント発症の理由 G) 心不全による入院、緊急受診、死亡、急性心筋梗塞の発症などがあった患者については、発生日、期間、治療内容、改善日、および転帰（改善、慢性心不全化、再入院、死亡など）に関する情報を、最大で研究期間終了日まで追跡</p> <p>試料：血液（診療時の採血に 6mL 増量）</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 研究責任者：健康管理センター一部長/循環器内科 中川 靖章</p>